

自己評価の視点	気付いたこと・課題
I 保育理念	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念について全職員にわかりやすく話をして再度確認をし、理念に基づいた保育はできてはいる。今後は方向性を同じにすることで、子どもたちが困らないような保育が展開できるよう取り組んでいく。 ・職員の子どもたちへの言葉かけ、接し方が気になることがあるため、常に気づきを持てるよう心掛ける必要がある。 <p>一人ひとりに寄り添いながら人としての尊厳を大切にしていく。</p>
II 子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる点など常に情報交換をし、共通理解を持つようにした。その中でお互いの気づきなどを話をしたり、アドバイスを行うようにした。 ・年長児については、保護者と個別に面談を行い、小学校での基本となる生活面を主に指導しスムーズな就学に向けて計画した。 ・子どもの発達段階等を保護者へ伝え、情報発信をしていく。
III 保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の生活の様子をお便りや写真などで知らせてきたが、まだ十分でないと感じている。 ・掲示板を活用し子育てに関する情報を周知したり、関係機関と連携し必要に応じ対応を行っている。 ・個人面談等で、子どもの様子を知らせ、一緒に子育てしていけるしたい。
IV 保育を支える組織的基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の様子を見ながら声をかけ、個別面談を行うことで園への要望、困り感を引き出せる雰囲気づくりを心掛けていくことの必要性を感じている。 ・保育の質の向上のため、園内研修、外部研修への参加に引き続き取り組んでいく。職員間のコミュニケーションがより良くなるように取り組んでいく。